

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	一般小売店〔生花〕 （経営者）	・競合店が取扱品目を縮小しており、販売品目を現在の状態で保てば、競合店よりは良くなる。
		旅行代理店（従業員）	・景気回復が多少浸透して、法人の団体旅行に復活の兆しが見られる。シルバー層を中心に個人・グループ客とも、海外旅行、ゴルフ旅行などの相談が増えている。メディアでも旅行記事、番組の取上げが多く、旅行環境は良くなってきている。
		通信会社（営業担当）	・店舗拡大・充実を今後図る予定であり、販売数がさらに増加する。
		観光名所（経営者）	・昼食の予約が順調に入ってきている。
	変わらない	商店街（代表者）	・12月あたりから来街者数も増えて、活気が出ており、空き店舗も徐々に埋まり、開店するようになってきているが、一段落すると、これ以上の上昇は望めない。
		一般小売店〔菓子〕 （販売担当）	・ここ数年、来客数の減少が一向におさまらず、この傾向は当分続く。
		百貨店（総務担当）	・最近では、海外旅行のために服を買われる客が増えている。所得の高い層は購買が活発になっているが、全体的には非常にシビアな購買行動が継続していくと考えられる。例えば、和菓子のコーナーで、お供えを買う客は、以前は4～5千円の商品を購入していたが、現在ではほとんど3～3.5千円に単価が落ちている。
		スーパー（企画担当）	・競争が激しい状態が続いており、チラシ、セールの効き目が薄くなっている。客が価格に敏感で、セールやチラシを見て買い回りにしている状況が続く。
		スーパー（財務担当）	・チラシによる割引率の高い特價商品に対しても集客力が弱く、必要な商品以外は買わない傾向が続く。
		コンビニ（店長）	・前年比で販売量は、先月に続き若干の伸びがあるが、さらに向上する素材は見当たらず、オリジナル商品を強化するも、酒類は減少しており、相対的に現状維持となる。
		家電量販店（店長）	・来客数は着実に増加しているが、商品単価の下落が見込まれるため、全体では横ばいが続く。
		家電量販店（営業担当）	・シーズンのなものもあり、現状は小型商品が数量を押し上げている感もある。客単価が余り上昇していないので、動きも余り大きくならない。
		乗用車販売店（従業員）	・購買動向は少し良くなってきたが、ガソリン等の値上がりのマイナス要因があるので、余り将来は上向きになる可能性はない。
		観光型旅館（経営者）	・景気は悪くないが、愛知万博の影響で、春から夏にかけては期待できない。
		設計事務所（所長）	・遊休地の利用について相談はあるが、計画がなかなか実現に至らない。
その他住宅〔不動産〕 （経営者）	・土地の値下がりや買い需要の低迷は続いている。		
やや悪くなる	百貨店（営業担当）	・例年の3月に比べて春物商品の動きが遅く、特にファッション系は動きが少ない。	
悪くなる			
企業 動向 関連	良くなる やや良くなる	パルプ・紙・紙加工品 製造業（経営者）	・新商品投入、新規得意先獲得、また売り方を変更しなければ、売上は伸びない。当社では、新商品の認知度が少しずつ上昇しており、良くなる。
		建設業（経営者）	・今後、工場の設備投資が増えそうな気配がある。
	変わらない	繊維工業（経営者）	・新規ルートの開拓に努めており、その成果が少しずつ出てきているが、全体的な売上を押し上げるところまでは至っておらず、今しばらくは時間が必要である。
		化学工業（営業所長）	・3月は需要期で、忙しくなるのが通例であるが、今年は3月のみならず、4月の受注状況も悪く、回復する気配は見られない。
		建設業（総務担当）	・受注価格は依然、低迷しており、採算ラインすれすれの状況がこのまま続く。
		金融業（融資担当）	・取引先の受注状況、受注単価から、良い材料はなく、低迷状態が続く。

	広告代理店（経営者）	・地元地方紙の案内広告、特に求人広告の出稿が最悪の状況である。ボリュームのある求人は、正社員募集でなく派遣業種の広告が目立つ。3月にはテレビスポットを集中して出していたスポンサーも、金額の低いラジオスポットに換えるなど広告料を抑える傾向が強くなっている。	
	広告代理店（経営者）	・得意先の多くは、新年度予算に関して従来通り厳しい話が多く、地方としては比較的大きな携帯電話関連の広告予算の一部が東京出稿に変更される予測もあり、依然として景気浮揚は望めない。	
	公認会計士	・取引先からの経営相談で一番多いのは、資金繰りのことで、今後も資金繰りが悪化する企業が増える感じである。事業が好転する、税金の心配をしなくてもよい企業が少ない状況であり、3か月先も今と変わらない状況と判断する。	
やや悪くなる	一般機械器具製造業（経理担当）	・原材料の値上げによる売価改善が進んでおらず、売上への影響が懸念される。	
	通信業（支店長）	・直近では魅力的な新商品の発売がなく、販売力が低下する。	
	不動産業（経営者）	・春の異動シーズンの動きが非常に悪い。また、売買取引も低迷しており、良い状態にならない。	
悪くなる	-	-	
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	求人情報誌製作会社（編集者）	・即戦力採用提案に向け、人材コンサルティング専任スタッフ配置などや訪問件数を増加し、体制強化を図っていく。
	変わらない	職業安定所（職員）	・新規求職者数は前年比で2か月連続して減少したが、3月末に離職予定である在職者の相談が多くなっている。
	やや悪くなる	職業安定所（職員）	・求職者は労働条件を落として仕事探しをしている状況である。
	悪くなる	-	-